

茨高
茨中

春秋

発行
茨高・茨中 P T A
代表 谷中恒夫
編集
茨高・茨中文化広報委員会
水戸市八幡町16-1
電話 029(221)4936
茨高・茨中公式ホームページ
<http://www.ibaraki-jsh.ed.jp>
印刷 いばらき印刷(株)



卒業にあたって PTA副会長 笹目 信次郎

ご卒業おめでとうございませう。茨城中学・高校で学んだ三年間は皆さんを大きく成長させた時間だったと思います。三年前の入学式では、学校生活に大きな期待を持って入学したと思います。皆さんが、この学校で過ごした三年間には、勉強や部活動、校外活動などがあり、一生懸命に取り組んだことと思います。その様々な活動を経験し、友人や先生や色々な人と関わって大きく成長していったと思います。楽しかったことや、辛くて逃げ出したくなる事などの色々な経験をすることが皆さんをより大きな人間に成長させる糧になっています。

卒業生の皆さんには、これから輝かしい未来があります。高校、大学、社会へと果立っていく中で様々な経験や出会いがあります。そうした人生の中で、経験したことが皆さん自身を磨き上げ大きく成長させていくことでしよう。その経験をする中で出会った人々が、仲間として、更に皆さんを支えあえる存在になり、一生を通じて付き合える仲間となるでしょう。人生には様々な考え方や価値観があり、その中で、自分の考えや価値観を表現する機会が増えてきます。他者との関わりの中で自分がどう生きるべきなのかを学んでください。その基礎となるものを茨城中学・高校で、同級生、先輩、後輩、先生方と共に学んでいます。「報恩感謝」の建学の精神の中で学んだ皆さんの、更なる成長が楽しみです。現在、皆さんを取り巻く環境は大きく変化していきます。大学入試制度の変更や、AIが急速に発展し社会に及ぼす影響は大きなものとなります。日本は少子高齢化が急速に進み、今までの社会システムが変化していく中で皆さんは生きていかなければなりません。が、恐れることはありません。皆さんが、中学・高校で学ぶ三年間、これから学ぶ数年間でその変化に対応していける人間力を身に付けていけるはずですよ。素晴らしい仲間と共に成長していけます。人は人であって磨かれませんが、皆さんのこのからの人生は無限の可能性があります。その可能性を現実に変えていくために努力をしてください。努力をしても全てが報われるわけではありませんが、自分の未来を切り開いた人は必ず努力をしています。そういう努力を出来る皆さんだと信じています。最後に、素晴らしいお子さんを育てていただいた保護者の皆様と、生徒たちがより良い環境で勉強できるように導いていただいた先生方、心より感謝申し上げます。



卒業する君達へ 校長 鬼形 正人

幕末・明治の優れた思想家として教育者である福澤諭吉先生は、政府の文明化政策の目をみはる成果にもたれかかり、しだいに依存体質になっていく民衆の姿を憂い「私立」(民間の独立)の必要性を呼びかけました。急激な社会変化の中で、人としての尊厳とは何かを常に考えること、そして自己の判断・責任のもとに行動することの大切さは現代にも通じるものがあります。飯村丈三郎先生が茨城高等学校・中学校を設立されたのは、昭和二年(一九二七年)です。普通選挙実施に向けて民権運動が大きく高まっていた時期でした。「どんなに小さなことでも人に迷惑をかけない」「人の為に社会の為に働くことを厭わない」(岩上二郎先生 茨城高校五十年史より)報恩感謝の精神の必要性もまた現代に通じるものがあります。AIの時代だからこそ、人としての尊厳とは何かと自己に問うことが求められています。

世の中をより良くするという思いを育むことが今必要とされています。自由とは自分の意のままに何でもできることと勘違いし、自由を求めて他者に対する配慮・気遣い・思いやりが欠落することになったのでしょうか。協働はその反省の中で提案されています。グローバル人材育成の観点から多様性という言葉が多く使用されます。多様性を認め、様々な異文化の中に身を置き、その中で自己の判断・責任のもとに自分を表現する。そのためには何が必要でしょうか。自己肯定感とその延長上にある自己確立であると思います。家族や信頼できる仲間達というネットワークは本来多様性を認め合うものなのです。「あなたはあなたでいいのです」と認め合うことのできる関係です。そこには多様な尺度があり、それぞれの良さを再確認できる場所でした。多様な価値観や文化を受け入れることが必要とされています。家族や仲間達というネットワークの重要性が再認識されています。答えの無い問いに対して、他者と協働し、最適な解を見つけたことが求められる、それが君たちの未来です。茨城高等学校三年・茨城中学校三年の諸君。君たちは将来、大学あるいは大



学院で学び、自分の専門領域を獲得していくでしょう。しかし、その専門性を社会の為に活かすためには、必ず他者との連携が必要になります。なぜなら君たちの課題は一つの専門領域だけでは解決できないグローバルな総合的・複合的な問題だからです。課題解決には専門家同士の連携・ネットワークが不可欠です。自分の意見を臆さず述べ、自分と異なる意見もきちんと聞く。少数意見を尊重し、粘り強く全員一致を目指す。知恵を出し合い議論しながら最適解を引き出すことができる人になってください。茨城高等学校・中学校を卒業する諸君。他者の尊厳を尊重し、自己の尊厳をまもり、自己の責任に基づく判断のできる人になるよう今後も研鑽を積んでください。報恩感謝の学び舎を卒業する君達には、それが出来るはずですよ。

高校卒業おめでとう



卒業にあたって

高校三年学年主任

及川

純

卒業おめでとう。ときには皆さんを支え、ときには支えられながらここまで来ました。自分にとってかけがえない思い出ができたと同時に、皆さんの人生の一ページに関わることができたことに喜びも感じています。

最近、人生百年という言葉を目にします。長いですね…楽しいこと、嬉しいこと、辛いこと、悲しいこと、

迷うこと…いろいろあつての人生です。その歩み方に正解はありません。

長い目で見れば何が成功で、何が失敗なのかすら、分からないものです。だからこそ七転八起の精神で何事にも全力で、そして誠実に臨んで欲しいです。そうすればきっといいことが待っているはずですので、新しい世界へ羽ばたく皆さんへ、心からエールを送ります。



風に向かう

高校三年A組担任

長谷部将司

卒業おめでとう。君たちの身には、この一年ないし三年間、様々な風が吹いてきたことかと思えます。今もその真つ直中かもしれないが、決して順風のみなどということはなく、中には暴風雨みたいな激しく厳しいものもあったでしょう。「何で自分に…」と、その状況を嘆き恨むこともあったかもしれません。でも、現実の事象に例えると、強い追い風は走っていてバランスを崩す原因になりがちですし、むしろ向かい風の方が風は高く伸びやかに揚がつていきます。順風満帆な人生には必ず落

とし穴が待っていますし、逆境（を乗り越える経験）は確実に人を強くします。「若いころの苦労は買ってでもしろ」という言葉が死語になりつつあるような最近の風潮ですが、長く受け継がれてきた言葉には必ずどこかに真実が宿っています。皆さんにはこの先も皆さん苦勞を重ねてもらって、深みのある大人になつてほしいと切に願っています。君ならできるよ。



卒業にあたって

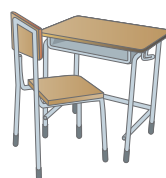
高校三年B組担任

奥村

広太

高校三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんとの付き合いの始まりは私がここに就職して皆さんの学年に配属された時でした。当時はとても真つすぐな性格の生徒たちだという印象でしたが、それは三年後の今も変わっていません。授業のこと、行事のこと、休み時間で立ち話したことなど楽しかった思い出は尽きることなく、来年度からこの思い出が更新されないことにぴんと来ていないのが実状です。自分もみなさんから果立たなくてはいけないですね。

さて、卒業には「もう茨城高校に守ってもらえなくなる」という側面もあり、そのことを痛感する時が来ると思っています。卒業後、自分どうにかしなくてはいけない壁にぶち当たるとは多々あると思いますが、その時は今までの自分の生きてきた道を信じて乗り越えてほしいと思います。



卒業する皆さんに

高校三年C組担任

荻谷

英子

ご卒業おめでとうございます！
新たな門出を皆さんとともに迎えることができ、大変嬉しく思います。また、保護者の皆様にはご理解とご協力を頂き、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、高校生活を振り返ってみると、どうだったでしょうか？三年間の学校生活では多くの学校行事があり、毎日の授業に部活動、仲間との貴重な時間…本当に充実していました。そして、この一年間で皆さんはずいぶん大人になりました。一番の驚きです。毎日の教室での何気ない





贈る言葉

高校三年D組担任 岸本 貴志

「光陰矢のごとし」といいますが、

たね。

月日が経つのは本当に早いものです。思い出してみようというところがありません。文化祭に研修旅行、そして大学見学を兼ねた遠足等々。また受験を目前に控えての様々な演習授業。みなさんと一緒に過ごした日々は、すべて一生の宝物です。みなさんもこの茨高での三年間は、これからの人生において大きな財産になることでしょう。その中で、最も大きな収穫は何だったでしょうか。それは「仲間」との出会いです。貴重な時間を「仲間」と共有できまし

最後に、贈る言葉。勝利に必要なメンタル「三つのCと、もう一つのC」

集中(Concentration)「冷静(Control)」、自信(Confidence)。そして「仲間」の三つのCを高めるために必要なもの一つとしてコミュニケーション(Communication)。

卒業おめでとう。

今後の益々の活躍を期待しています。



担任の思うこと

高校三年E組担任 吉地 克弘

この三年間で先生は担任の仕事に誠実に取り組みました。いいこともいやなこともありましたが、でも担任は言い訳をしないで正直にやってきました。「よしとけばいい」「よしは自分のことではない」「だってくだから」「あとですればいい」という言葉は嫌いです。つねに「いまできることは何か」「どんなことをすればよいか」を模索して諸君と一緒に悩み、そして三年間が過ぎました。そんな担任の姿をみて諸君は何を思ったのだろうか。

いま旅立ちのとき。新たな志をもつて次の世界へと飛翔してもらいたい。そして十年後にふと高校生であった自分を思い出して自分がこんなに成長したんだと振り返ってみるのです。そんなとき、担任のこと

担任が大事にしたのは「何気ない

も思い出してくれたら嬉しいです。



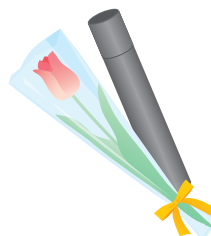
卒業にあたって

高校三年F組担任 原 健一

いつかあなたは、暗く孤独で惨めな場所にたどり着いて、一人困難と向き合わなければならないだろう。友人も両親も教師も誰一人助け

てくれず、ただ一人で耐え忍び、乗り越えなければならない。頼ることも相談することもできず、か細い二本の足で立ち続けなければならない。もし「大人になる」ということが、そういうことだとしたら。

その時に立ち続ける力を、笑顔を保ち続ける精神を、養ってください。強く優しい人間になってください。小さく弱いものたちの味方でいてく



卒業にあたって

高校三年G組担任 横倉 友博

これまでの思い出を振り返りながら、感謝したいことは何か思いを巡らせてみてください。ここまでの間にたくさんさんの感謝があるはずですよ。「感謝すること」は簡単なように思えて実際には難しいものです。恩を受ける立場からでは気付かなかつた

ります。誰かのために何かをして初めて、自分が受けた恩を知り、心の底から感謝できるものです。報恩感謝の理念は、この学校を卒業し、これから長い人生を歩む君たちにとって終わりのない宿題のようなものだ



先生からのメッセージ



高校三年学年付

坂本 佳朗

一つ、茨城高校の卒業生となったことを誇りに思っています。

一つ、茨城高校での生活が記憶の彼方になるくらい充実した人生を送ってほしい。

私達も、皆を思い出す暇がないくらい全力で次の教育をする。



高校三年学年付

熊山 こずえ

ご卒業おめでとうございます。

皆さんが三年生になって初めて出会い、スタートした一年前でした。受験を通して学んだこと、人生について考えたことは何か。その真の学びを胸に、「幸あれ！」と願っています。



高校三年学年付

川島 祥司

茨城高校での三年間は充実したものになったでしょうか。これから新しい生活へスタートを切る事になります。茨城高校で学んだ事をぜひ生かして下さい。今後の活躍を期待しています。卒業おめでとう。



高校三年学年付

折山 葉

皆さんには無限の可能性あります。自分を信じ、存分に力が発揮されるよう努力してみてください。そして、皆さんのその素敵な笑顔を大切に、これからの人生を歩んでほしいと願っています。卒業おめでとう！

～高校卒業にあたって～



三年A組

小澤 亮太

茨城高校に入学して早くも三年が経ちました。個性豊かで楽しい友達と、日々の授業や部活動、また文化祭や研修旅行などを通して充実した三年間を過ごすことが出来ました。更に、素晴らしい先生方にも恵まれ、様々なご指導をいただきました。

これからは、三年間で学んだこと、そして「報恩感謝」を胸により一層頑張っていきたいです。家族、友達、先生方、三年間ありがとうございました。



三年E組

府川 祐貴

茨城中入学から六年、茨城高校卒業を前に、もつとできる事があつたと後悔している。優等生には程遠い私は、心配も迷惑も人一倍かけてきた。どんな時も見捨てず励まし支えてくださった先生方、クラスのみんなにこの場を借りて、心からの感謝を伝えたい。ありがとう。皆さんのおかげで、楽しい学校生活が送れました。二年間担任してくださった吉地先生、ずっと信じてくれて嬉しかったです。



三年B組

野上 柚月

長いと思っていた高校生活もあっという間に終わりを迎えてしまいました。楽しいことも苦しいこともたくさんありました。が、こんなに充実した三年間を送ることができたのも家族や皆さんの先生方、友達のおかげです。茨城高校で過ごした三年間はきつとこれからの人生の中で心の糧になると思います。今まで長い間本当にありがとうございました。



三年F組

槐 珠希

中学高校の六年間で、多くのことを学び、大きく成長したと感ずる。大変なこともあつたが、友人や先生方、後輩達に支えられ、乗り越えることができた。部活動を通して、目標に向かって共に頑張る仲間ができたことは、一生の宝ものとなった。四月からは皆それぞれの道を歩むことになるが、選んだ道が正しかったと言えるよう、思い出を糧に、精一杯努力していきたい。



三年C組

長谷川 真由

昨年四月。どことなくさこちない雰囲気のある教室。これからうまくやっていけるのか…。しかし、多様な価値観を持った仲間や、先生方との出会いは、そんな不安を払拭してくれるほど温かいものだった。C組は、毎日色々な事が起こって、笑いが絶えず、受験を控えた私たちの心に潤いを与えてくれた。高校最後の一年を、C組で過ごせて幸せだった。こんなかけがえないクラスを一生忘れない。



三年G組

北辻 永久

気づけば三年間はあっという間。毎日を友達や先生方と共に過ごしたことで、多くのことを学べたと考えています。私が初めて「報恩感謝」という言葉を耳にしたのは、六年前です。この理念を完璧に理解したとは思いませんが、恩に報いることの難しさには、気がついたのでないかと考えています。

ここ迄育ててくれた両親や支えて下さった先生方、友人に感謝します。有難うございました。



三年D組

今井 菜都香

高校生活三年間を振り返ってみると、充実していてもつまらないところもある。高入生として入学してきたので、初めは不安ばかりでしたが、日々の友達との生活や様々な行事を通して沢山の思い出を作ることができました。今年受験という大切な一年だったが、クラス一人一人の受験意識が高く、自分自身の刺激になることばかりだった。このような素敵な仲間に出会えたことに本当に感謝したい。





中学卒業にあたって



三年学年主任
柴田 孝司

「努力という種を蒔きなさい。何も無駄にはなりません。芽を出すのに手間取ったとしても、いつかは必ず生えてきます。力は力を生むのです。」

ロマン・ロラン(フランス・作家)
「あなたの夢は何か、あなたが目的とするものは何か、それさえしっかりと持っているならば、必ずや道は開かれるだろう。」

マハトマ・ガンディー(インド・政治指導者)

三年間で努力という種が蒔けたでしょうか。高校生になってからも種に水を与え、肥料を与えて下さい。芽を出すのに時間がかかったとしても、夢を持って信じていけば必ずや育っていきます。一気に花を咲かせるのは難しいですが、小さな目標からこつこつと進めていくことが実は一番の近道なのです。皆さんはそのことを実践し、将来素晴らしい大輪の花を咲かせることに信じています。

「人生の目標を達成しようとするとき、限界がたった一つある。それは自分が決めた限界である。」
デニス・ウェイトリー(アメリカ・能力開発研究家)

もちろん努力が足りなかった人もいるでしょう。しかし、人生はまだまだ始まったばかりです。あきらめずに早く種を蒔くのです。何か少し足りていないだけで決して限界でも能力が無いわけでもないのです。

君達から色々なことを学ばせてもらいました。卒業おめでとう。そしてありがとう。



三年A組担任
木村 智樹

“Step out of your comfort zone, and challenge yourself.”

人間は居心地の良い場所にとどまりたい存在です。しかし、そのような安全領域(Comfort Zone)に固執し、変化や刺激のない生活を続ける限り、人は成長できません。海外で自分を磨くでも、不可能と思われるような夢にチャレンジするでも良いでしょう。マインドそして行動が変われば、運命さえも激変します。だからこそ、「集中力」「計画力」「継続力」を武器に、自らに負荷をかけ続けてください。これらも23期生サポーターの一人として君たちの「本気」を支持します。



三年B組担任
中山 佳紀

「ミネルヴァの梟は黄昏に飛び立つ。」哲学者ヘーゲルの言葉です。一時代の終わりに、その時代の意味を見いだすのが哲学の役割だ、という意味です。

この言葉は、こう読み替えられると思います。「過ぎ去ってはじめてわかることがある」と。

いつどれ程成長しているか、その途上では気づかないものです。だからこそ今を精一杯生きねばなりません。大人はミネルヴァのように見守っています。

卒業おめでとう。黄昏は、まだ、訪れない。



三年C組担任
井上 奈穂

「卒業おめでとうございます。元気な中一が入学してきたな、と感じた春から三年。勉強や部活動に励み、学校行事を重ねるたびにひとまわり、ふたまわりと成長するみなさんの姿に驚かされました。特にこの一年は心身共に大きく成長しました。その成長の傍にみなさんを見守ってくれている人たちがいます。感謝の気持ちを持つこと、そしてその気持ちを自分の言葉で伝えることを忘れないで下さい。

高校でのみなさんの活躍を楽しみにしています。



三年D組担任
原山 克也

空を泳ぐ魚に水の中を飛ぶ鳥などと聞いたらどう思うのだろう。何か変だと思わないだろうか。だが、鯉のぼりとペンギンのことだと言えば、きつとなるほど腑に落ちるに違いない。勝手に自分で思い込んだ枠組みの中で考えとおかしく感じることも、枠組みを超えたところまでしっかりと存在して輝いているものがあるものだ。だから卒業する君たちに言っておきたい。自分で決めた枠に収まるな。卒業おめでとう。



三年学年付
須藤 岳志

「卒業」とはいえ、高校は同じ、仲間も変わらない、先生も知った顔、卒業式やつてもなあ。半分くらいそう思っていない？

そういえば、最近、背比べ挑んでくる奴、いなくなった。もうすっかり大きくなったからだね。体だけじゃない心も変わった。教室で見せる表情の一つ一つが変わってきた。制服も変わる。もう可愛らしい制服はいらないね、成長した君にふさわしい器が用意されてるよ。君たちがこの器でどんな自分を作っていくのか楽しみです。



三年学年付
Jeffrey Gossen

中学校卒業おめでとうございす。今、嬉しいと感じているでしょうが、三年後の高校の卒業の時には、もっと嬉しいと感じると思います。四月からも、頑張ってください。

I want to congratulate everyone on their junior high graduation. But more than that, I want to congratulate you in three years from now at your high school graduation. Please work hard!





3年間を振り返って



三年A組

井坂 京愛

私が、中学校に入学して一番楽しみにしていたのは、小学校にはなかった部活動です。バスケ部に入り、弱くてもそれなりに皆で力を合わせて、少しずつ強くなって行き、チームワークの大切さや難しさを知って、毎日悩んだり泣いたり辛い事もあったけどバスケが大好きで、ずっと続けてきました。



最後の総体で足のケガをしてから、人には言えないくらい苦しみを感じたけど、バスケに出会えて、友達と一緒に一憂した日々はかけがえのない宝物です。

私の中で、あつと言う間に過ぎ去った中学校生活はバスケの思い出いっぱいです。



三年B組

後藤 隼人

中学三年間はあつという間でしたが、僕にとっては色濃く成長の糧になった時間でした。なぜなら毎日がとても充実していたからです。

入学時、初めての部活、慣れない自転車通学、新たな友達づくりに不安がありました。温かく、厳しくも指導してくださった先生方、どんな時も協力してくれる心強い友達、支えてくれた家族、仲間のお陰で無事に中学生生活が送れたのだと思います。ありがとうございます。



三年C組

田村 颯汰

中学三年間を振り返ってみると、多くの人から恩を受けて過ごしてきたと実感しました。日々の生活では、先生方が授業だけに留まらず、課外や質問に行った際もしっかり教えて下さいました。

また、三年間の体育祭やクラスマッチ、遠足の中で自主性を育むと共に結束を深めてきました。そして、遠足では、行った先々で沢山の方が協力して下さい、それらの協力無しでは経験出来なかった事だと感じています。



三年D組

粉川 太陽

茨城中学校で過ごしたこの三年間を振り返って僕が思う事は本当にあつという間だったなという事だ。それはきっと皆が僕の周りに居てくれたからだろう。自分も含めて馬鹿ばかりだけれど、だからこそ、馬鹿らしく笑い合っている間に何もない日々も楽しく過ごすことが出来た。そこで、皆に心から「ありがとう」を言いたい。それから、これまで毎年学級委員長をやってきた言える事がある。それは、皆、一人一人が、優しさを持っているという事だ。

そんな素晴らしい学年だ。だから、「自分の存在は、今も、これからも誰かを支える」と胸に刻んで欲しいと思う。

これからも頑張っていこう!!



茨城中学校	茨城高校
工藤 直美	金子佐知子
富田めぐみ	石井 尚恵
尾曲恵実子	村上 純子
荒川 智美	根本希巳江
岩沼 三恵	友部 尚子
根岸 理加	河合貴美子
和田志保子	居城 晴美
吉田 弘代	島根 幸子
豊崎 真央	田谷真由美
久保恵美子	宮角志津香
鈴木 幸子	松下千佳子
中山 優子	矢田目祐子
鈴木 美紀	毛塚志津香
西野真記子	及川 朋子
萩谷 幸代	河合 美佳
永井 友希	野澤加代子
柏村 明子	柴崎 真由
佐竹 清美	作山 元子
石川 智恵	亀山 朋美
榎原 直美	長洲久美子
川又和賀子	一瀬由紀子
口石 仁子	石田 真澄
久保田瑠美	鈴木 香織
	岩本由利子
	白石 妙子
	飯島 優子
	小林 恵
	友部 純子